

授業科目 レクリエーション指導論

【担当教員名】 小田切 毅一	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

レクリエーション指導をするに当たって必要な、基礎的な理論と原理を学ぶとともに、レクリエーションを必要とする現代生活の多様な局面に応じて、レクリエーションを指導・管理するための基礎的教養を身につける。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 労働と余暇の関係論に基づいてレクリエーションを説明できる
2. 社会運動としてのレクリエーションの運動的意義について説明できる
3. 現代社会におけるレクリエーション指導の意義について説明できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1 レクリエーションとは、「支援者」にとってのレクリエーション 2 「遊び論」の広がりとの遊び論的広がり 3 レクリエーション今昔、古くて新しい活動やゲーム考 4 社会運動としてのレクリエーション（1）：モデルとしてのアメリカと日本 5 アイスブレーキングの意義、コミュニケーションワークとしてのレクリエーションの意義 6 余暇行動論の視野からみた「みんなの生涯レクリエーション」 7 福祉社会論の視野からみたレクリエーション・ワーク、その実践事例 8 ニュースポーツ論の視野からみたレクリエーションのプログラム・事業		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	授業の際に、適宜資料を配付			
	藺田碩哉『遊びと仕事の人間学』遊戯社 日本レクリエーション協会編『楽しいをつくる』日本レクリエーション協会			
その他の資料				
【評価方法】 出席および小レポート(毎時間)：50%、 期末試験：50%	【履修上の留意点】			